

## ゴールデンスポーツイヤーズ

来年からの3年間、世界規模のスポーツイベントが集中するゴールデンスポーツイヤーズが始まります。  
まず、来年9月から始まる『ラグビーワールドカップ』の会場に関西から神戸御崎公園球技場や大阪花園ラグビー場の2会場が選ばれています。  
加えて、2020年の『東京オリンピック・パラリンピック』では、フランス陸上チームの事前合宿地に三木市にある県立三木総合防災公園が選ばれました。  
また、2021年に関西で開催される『ワールドマスターズゲームズ』では、テニスの大会が県立三木総合防災公園にあるビーンズドームで開催されます。

イベント項目	2019年				2020年				2021年				備考
	1月 ～3月	4月 ～6月	7月 ～9月	10月 ～12月	1月 ～3月	4月 ～6月	7月 ～9月	10月 ～12月	1月 ～3月	4月 ～6月	7月 ～9月	10月 ～12月	
ラグビーワールドカップ2019			9月20日～11月2日										①②出典：日本政策投資銀行
①予想来場者数：200万人以上													参加チーム：20
②予想経済効果：2,330億円													参考：2015年イングランド大会観客動員数248万人
													関西では、神戸(御崎公園球技場)・大阪で計8試合を予定
2020年東京オリンピック・パラリンピック		前年度合宿				直前合宿							①②出典：みずほ総合研究所
①予想来場者数：505万人以上													予想消費額2,074億円
②予想経済効果：2.5兆円													フランス陸上チームの事前合宿誘致(三木市)
関西ワールドマスターズゲームズ2021										5月15日～30日			①②出典：産経WEST記事
①予想来場者数：16万人													オークランド大会：28競技45種目、参加者2.8万人
②予想経済効果：913億円													三木市はビーンズドームにおいてテニス大会が開催予定
※近畿2府4県と鳥取、徳島県の合計													世界最大級のアマスポーツの祭典

### 【概要】

ラグビーワールドカップ：今回で9回目を迎えるラグビーワールドカップは、夏季オリンピック、FIFAワールドカップにつづく世界3大スポーツ大会のひとつ。開催間隔は4年に一度。アジアでは初の開催となる。今大会における出場チーム数は20チーム。開催期間日数は、44日間。全国12か所の会場で開催。参加国は、ヨーロッパ・オセアニアが中心。来日が見込まれる観戦客は長期滞在と高消費単価の傾向がある。

オリンピック・パラリンピック：4年に一度開催される世界的なスポーツの祭典。2020年の東京で第32回目となる。

ワールドマスターズゲームズ：生涯スポーツの祭典として国際マスターズゲームズ協会が4年毎に主宰。概ね30歳以上のスポーツ愛好者であればだれでも参加可能な生涯スポーツの国際競技大会。2021年関西大会で10回目。1985年カナダ・トロントでの第1回大会に始まり、4年に一度開催。前回の第9回大会はニュージーランド・オークランドで開催され、約100か国、28,571人が参加。

### 【問題提起】

三木市においても、この機会をビッグチャンスと捉えどう活かしていくべきか。